PUELLA MAGI
SUZUNE
MAGICA
MANGA TIME
K.R.
COMICS
VOLUME
THREE
PUELLA MAGI SUZUNE MAGICA
芳文社

PRESENTED BY
GAN
3
PUELLA
MAGI
SUZUNE
MAGICA
Magica Quartet

©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Partners・MBS
P U E L L A M A G I
S U Z U N E M A G I C A
V O L U M E T H R E E
[魔法少女すずね☆マギカ] ③ 漫画：GAN ／ 原案：Magica Quartet

TABLE OF CONTENTS

PUELLA MAGI SUZUNE MAGICA
VOLUME THREE

CHAPTER 11-16

第11話ー黒暗

…カガリ…

えへへ
元気だったぁ？

…何でこんなこと
したの…
…お姉ちゃん

何でってぇ？
そんなの決まってるじゃん
お邪魔ムシ
だったんだもん
マツリは

あ でもでも
勘違いしないでね？
大事な双子の
妹だもん
消しちゃうのは
記憶だけにしといて
あげたんだよ？

そんな顔
しないでよぉ
きっとまた
元の暮らしに
戻れるから！

このゲームが
終わったら…
ね？
…！
ハッ
…もしかして
スズネちゃんは…!?

やっぱり…
…どいて
二人を止めなきゃ…
…ダーメ
ス
もうちょっとだけ
眠っててね
パ
パ
チン
いかせて
あーげない♥
!
あ…

気絶させたのかい

ひょこ
キュゥべえ

ふふ…安心してよ
もうこれ以上引き延ばすつもりないから

…いよいよクライマックスだよ♪

ギーンッ
ギンッ
ギーンッ
ダッ
ダッ
ダッ
ダッ
ダッ
ダッ
ダッ

はあぁッ!!
く…っ
この…ッ!

ヒュ

ぐイッっ!?

ヨロ…

…くそ…っ!!

…まだ…

まだ…

やられるワケにゃいかないのよ…ッ

最大(フル)
出力(ブースト)ッ!!
…!
それは…
そうよ…
これでアタシの力は限界まで強化された…
その分魔力の消耗も極めて激しい…
貴方自身も危険なはずよ
アンタだって言ってたでしょ…
これがアタシなりの「覚悟」なのよ…!

アンタが倒される
のが先か
アタシが倒れる
のが先か
勝負ッ!!
…さっきとは
比較にならない
速さ…!
バ
ッ
キ
ラァァ!!

ガッ
ガッ
バッ

！
遅いッ!!
こンのォ…

ヤロォォーッ!!
ぐっ…!!

ザザ
ザザ
ザザ
ザザ
ザザ
ザザ
ザザ
うおおおお
おおぉ
おおお

ビュッ
ビュッ
ビュッ
…行って…
はああッ
そんなもん…ッ!
トドメエッ!!

が…ッ!?
ガクッ
!

はーぃ

そこまでぇ♥

ソウルジェムごとサクッといっちゃいましたぁ

ね よく出来たでしょ？

スズネちゃん♥

貴方は…

誰なの…?

忘れちゃったの？

第12話　再会

つれないなぁ

私は一度も忘れたことなかったよ？

ツバキのことは…
覚えてるのに
ねぇ？
!
ピク

ドッ

…何故貴方がツバキを知ってるの⁉
キュゥべえから聞いたのね…⁉

ぷっぷー
なーんだまだ元気じゃない

私も殺すの？
ツバキみたいに
……ッ

質問に答えてッ！

あはっ
ホントにおぼえてないいんだぁ
ま 当たり前なんだけど
じゃあ改めて…
パ
チ
ン
教えてあげるよ
…何を…
言って…

昔々
あるところに
小さな村がありました
ある時村に
人に化けた狼がやって
きました
狼は夜になると
毎日のように村の人達を
襲っていました
森に住む心優しい魔女は
村人達をかわいそうに思い
魔法で狼を
やっつけてあげました
村は平和になりましたが
自分が疑われるのを
恐れた村人達は
今までのことを
魔女のしわざにして
村から追い出して
しまいました

え〜〜！
そんなのヒドいよ！
魔女は何も
悪くないのに！
また一人ぼっちに
なっちゃうなんて…
かわいそう…
…そうですね
一人ぼっちは…
とっても寂しい
ですから
…でも
このお話はまだ続きが
あるんですよ？

ホント!?
どーなるの!?
グイ
早く教えてよ
ツバキ!
グイ
ふふ…
はいはい
それじゃ続きを
読みますね
…それから
しばらくしたある日…
…本気なのかい？
ツバキ君

今月で仕事を辞めるというのは…
…はい
そうか…
…妻が亡くなってから塞ぎこんでいたあの子達を変えてくれたのは君だ
娘はもちろん私としても出来ることなら残って欲しいが…
…あの子は身寄りがないんです
まだ小さいですし…私がしっかり面倒を見てあげないと…
その事なんだが…
君さえよければその子をウチで預かってもいいんだよ？
それは…

…やっぱりこれ以上
ご迷惑をおかけするわけには
いきませんし…
それにその…
詳しくは言えませんけど…
特殊な子なんです
コ
ト
だから…
…分かった
何か事情が
ありそうだが…
君がそこまで言う
なら仕方あるまい
あの子達はさぞ
悲しがるだろうが…
特にカガリは
不安定なところが
あるからね
…本当に
すみません
二人には…あとで
私から伝えて
おきます
なぁに
君が心配する
ことはないさ
ただし
何かあったらすぐ
連絡してくれよ
ははは
ありがとう
ございます
それじゃ
そろそろ…
ああ

パタン
はぁ…
ギイ…
…誰かいるの？
マツリ
ツバキ…？
どうしたの？
…よく聞いて下さい
ギュ
マツリ

もしかしたらこの先
幸せな事ばかりじゃないかも
しれません
でも…何があってもくじけないで
お父さんの言うことを
よく聞いてカガリとも
仲良くして…
そして
誰か困っている人が
いたら…
助けてあげて
下さいね
…？
どうして
そんなこと…
…ううん
何でもないです
また明日
来ますね
あ…

ツバキ君は…その
お母さんの具合が悪く
なって
急に帰らなきゃ
いけなくなったんだ
二人に会えなくて
とても寂しがってたよ
いつ帰ってくるの？
それは…
ちょっと
分からないな
パ
…ふぅ
タン
ツバキ君…
一体どこに行って
しまったんだ…？
続いてのニュースです
ホオズキ市在住の女性
美琴椿さんが先週から
行方不明になっていることが
判明しました
県警では何らかの事件に
巻き込まれたとみて
捜査本部を設置し…
行方不明か

…ツバキ来ないね
うん
明日も来れないのかな…
…きっと帰ってくるよ

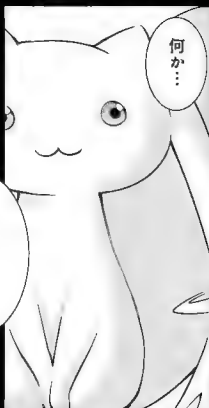
…けど
来週から新しい人が来るってパパが…

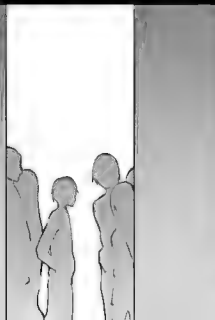
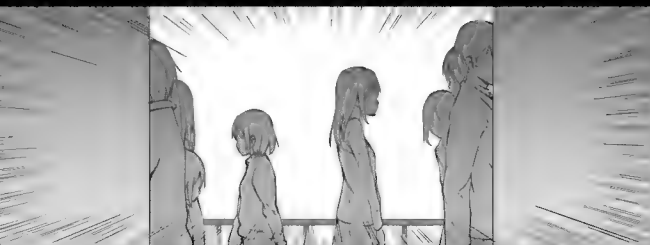
帰ってくるよ!!

ひっ…

パパは
嘘ついてるんだ…！
だって…
だって…
ツバキが私達を
置いてっちゃうわけ
ないもん!!
…でも…
モジ
モジ
何か
ヘンだよッ!!
マツリだって
そう思うでしょ!?
でもじゃない！
バ
ッ

ケーサツの人
だって来てたし…
きっと…
きっと何か
あったんだよ…
何かって…？
…分かんないよ
だけど…探しに行く
絶対会いに行く！
ザッ
…マ　マツリも…
マツリもついてく！
ツバキに会いたい！
ダメだよ
マツリは目が見えないし
危ないもん

大丈夫だよ！
マツリだってちょっとくらい…
ダメって言ってるでしょ!?
マツリは…
ギリ…
ギィ
!
何か…
やあ
どうしたんだい
困ってるみたいだね

わぁ・・・見て見て！カガリ！
すごい！すごいよ！
見えるってすごい！
遊びに来たんじゃないのに…
仕方ないさ
彼女にとっては見ること自体が初めてなんだ
それだけの情報が急に目の前に飛び込んできたら驚くのも無理はない

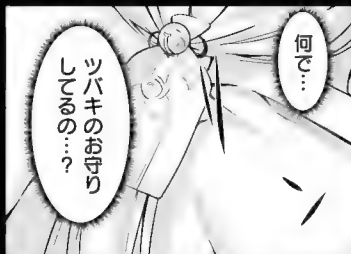
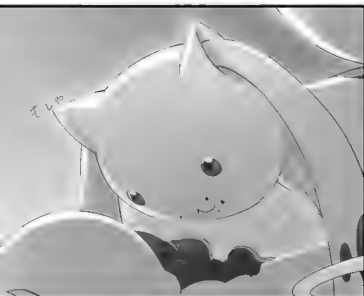
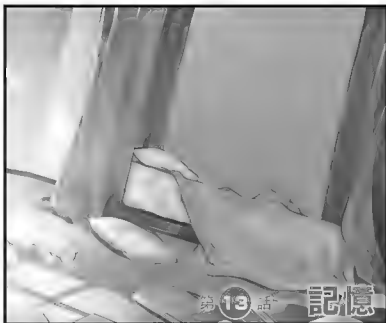
…大体キミだって 怪しいよ
いきなり出てきて
マツリの目を 治しちゃうんだもん
まあ そうやって 訝しがられることも あるのは事実だけどね
僕はただ契約の 見返りを与えて あげただけさ
特に君達は最近見てきた 中でもとても素晴らしい 才能を持ってるようだ
キミも叶えたい ことがあったら
いつでも 言ってよ
…ふぅん…
やっぱり 怪しい…

見つからないね…
うん…
…これが…
夕方…?
もうそろそろ帰らないと…
パパに怒られちゃうよ
………

…マツリは先に帰っててよ
あとは私が…

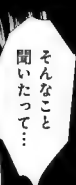
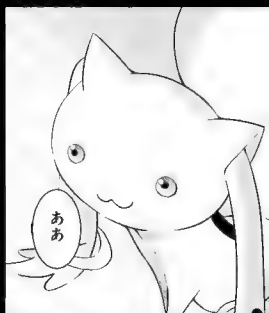
!
マツリ
今の…
うん！
ツバキの音！
行こ！
ダッ

こっちだよ!
ツバキ…
やっぱりいたんだ…!
聞こえる…
そこにいるんでしょ?
ツバキ!

会いたかっ…
…え…？
何で…？
あの子…
ねぇ
カガリ
どこ？
ツバキは!?
グイ
何で…
ツバキのお守り
してるの…？

第13話
記憶
じゃあ…
あの子がツバキを殺したの？
ああ
だが…
魔法少女はいずれ魔女になりそこからエネルギーが生まれる
そして魔法少女の役目はその魔女を倒すことだ
スズネはただその役目を全うしただけにすぎない

…ツバキは…
あの子を選んだの？
私達よりも
あの子を…
僕のデータによれば
そのようだね
彼女はスズネの
面倒を見るために
この家での仕事を
辞めるつもりだった
と記憶されているよ

ツバキもスズネと同じ
ように魔女によって
孤独の身となった子
だったんだ
そして一度だけ…
力を使って他人を
傷つけてしまった
ことがある
スズネに同じ事をさせないように
そして君達二人を巻き込まない
ように彼女なりに気を使った上
での選択だったようだけどね

ギッ
…だから
何なの？

私達を…巻き込まないようにぃ…？
ふっ…
あっはははは っ!!
そんなこと聞いたって…
意味ないよ…
バッカみたい!!結局あの子を選んだってことでしょ!?
…ツバキはもういないんだもん
もう…帰ってこないもん…

話って
なんだい？
カガリ

願い…
何でも叶えて
くれるって
言ったよね？

ああ

あの子に…

復讐したい

ツバキが
味わったのと
同じ苦しみを
与えたい
…もっと具体的に
言ってくれないか
それはつまり…
魔女にさせるって
ことかい？
このまま放っておいても
魔女になる可能性はあるよ
といっても今の彼女は
心を閉ざしているし
自ら死を選ぶことも
否定できないけどね
…ううん
そんなんじゃ
全然足りないよ

もっと
もっと
もっと…
苦しんで魔女になってもらうんだ…
ひとりぼっちの…
絵本の魔女みたいに

…ねぇ
思い出した？
スズネちゃん
ガ
…何が…
どうなって…
ク…
スズネちゃんはさ
マツリや私に会ったことが
ないわけじゃない

・・・・忘れてただけなんだよ

…嘘よ…こんな…

嘘じゃないよぉ 私がツバキを殺したスズネちゃんと

スズネちゃんを選んだツバキに復讐するために契約してさ…

ま 記憶を消すだけなら
他にもやったりしたけどね
もちろん
マツリも…
でもスズネちゃん
は特別

キュゥべえも
言ってたけどさ
スズネちゃん
ずっと閉じ
こもってたんだよ？

それじゃあ
つまんないじゃん
だからね…
イイコト思い
ついちゃったの

…やめて…

ちゃんと最後まで思い出さないと

僕に協力しろって言うのかい？
別に？何かしてなんて言ってないよ
ただヒミツにしといてくれればそれでいいんだから
スズネの意識と記憶を改竄して暗殺者へと仕立て上げる…か
魔法少女を魔女になる前に殺せば当然エネルギーの回収も不可能になる
それを僕が放っておくと思うのかい？
私ってさ…
他の子よりも一杯取れるんでしょ？
エネルギー

じゃあさ…
黙っててくれたら
魔女になってあげる
邪魔したら…
なってあげない
…って言ったら？
…交換条件
ってことか
確かに君達やスズネは
普通の子よりも優れた
力を持っている
もちろん今まで会ってきた中には
それ以上の力を持つ子も
たくさんいたが…
その君達から
エネルギーを回収
できないのは
こちらにとっても
大きな損失だ

…じゃあ…
ただし
彼女が殺した子達の
エネルギーの総計を
君達から得られるエネルギー
が上回っている間だけだ
利益が得られないと
判断すればこちらも
それなりの対応をさせて
もらうよ
ふーん…
リエキリエキって…
キミはそればっかだね
それが僕達の
目的だからね
当然じゃないか
僕はあくまで
合理的な判断を
するまでさ

まぁ　いいよ
…ふふっ
楽しみだなぁ…
スズネちゃんが気付いた時の顔見
やめて!!

思い出したでしょ!?

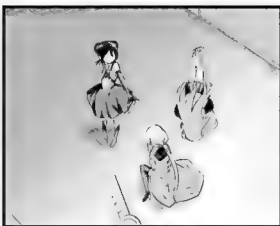
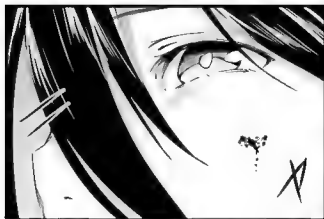
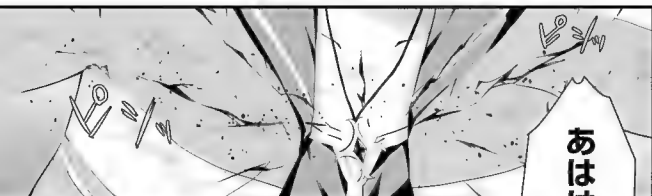
ツバキを殺して！もう戦うのも嫌がってたクセにさぁ!!

ニセモノの記憶
なんかに
だまされて
人殺しに
なっちゃって！
うるさいッ！！
もう…やめてよ…ッ！
嫌…
聞きたくない…！！

辛いでしょ？
痛いでしょ？
ずっと待ってたんだから
この時を
スズネちゃんが
いーっぱい罪を
犯して
ここに
戻ってくるのを！

うぅ…
そうだ…
私は…

魔女を倒すことも
出来ず
塞ぎ込んでいた…

もう誰も傷つけたく
ないって…
そう思ってたはず
なのに…
なのに
私は〝作られた〟
正義を振りかざして…

何人の命を
ギリ
ううう…ッ!!
うわあああぁぁあああああ…!!
踏みにじってきたんだろう

ピシッ
ピシッ
あははッ！
なっちゃえ!!
魔女になっちゃえばいいんだッ!!
あはははッ！

…ん…
…でも
このお話はまだ続きがあるんですよ？

それからしばらくした
ある日――
タ
タ
タ
魔女はまたひとりぼっちに
なってしまいましたが
たった一人だけ魔女の優しさに
気付いた女の子がいました
タ
タ
タ
タ
タ
タ
女の子は村人達に内緒で
こっそりと魔女の住む
森へ遊びに行きました
あ…
やっと見つけた！

…あなた…
誰…？
マツリはね
日向マツリって
いうんだ！
二人はやがて一番の
友達になりました
魔女はもう
天乃…スズネちゃん
だよね
あのさ…
ひとりぼっちでは
ありません
友達になろうよ！

…貴方が…

貴方が…

第14話 — 決裂

全部…ッ!!

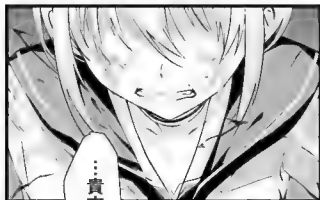
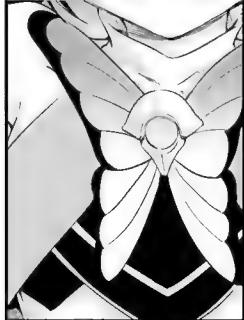
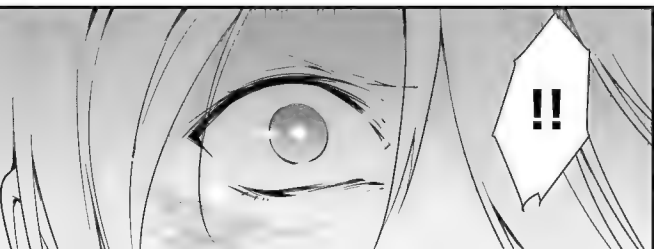
うわああああ
ああああ
クス…

ふふっ
大人しく魔女になっちゃえば…

いいのにさッ!!

！
ぐっ…
私は…
魔女にはならないッ!!

貴方の
思い通りには
ならないッ!!

残念でしたぁハーズレ♥
ザァ…
…ッ！
ザ
どう？
ステキな幻でも
見れたぁッ!?
ゴキ
ドッ

ズガガァァ
…ふぅん
魔法でギリギリ防御するなんて…
まだそんな力残ってたんだ
ずいぶんシブトいんだねぇ

さあ!!

…やっぱり
来ちゃったんだね
貴方は…
マツリ

…当たり前だよ

だって
こんなの…
ヒドすぎるもの
関係のない
チサトとハルカ…

それに
アリサまで
巻き込んで…

…スズネちゃん
ゴメンね
もう大丈夫
だから…

無駄よ…
せめて魔女に
なる前に…

そんなこと
言っちゃダメだよ

このまま
スズネちゃんを
死なせたりしない
魔女にも
させない

きっと…

きっとツバキもそう言うと思う

…!

これ…とっといたグリーフシード

使って

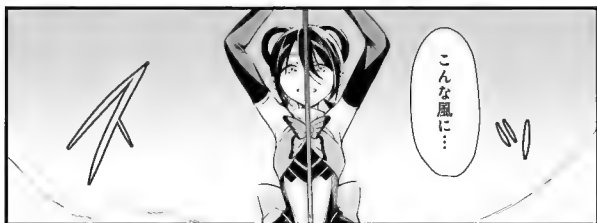
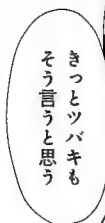
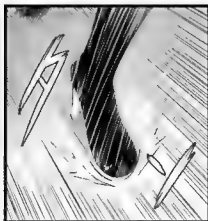
グッ

その子はツバキを奪ったんだよ？
殺したんだよ!?
スズネちゃんさえいなければそもそも復讐なんてしなくて済んだ！
マツリの仲間だって死なずに済んだんだから！

こんなことして…

ツバキが喜ぶはずないよ!!

どうして分からないの!?

分かってないのは
マツリでしょ!?
いつも
いつも
いっつも!!

邪魔
ばっかり!!
何でッ!?
そんなに
私が嫌い!?
そうじゃ
ないよッ!!
マツリは
邪魔してるんじゃ
なくって!!

ガッ
ッ
みんなに…
みんなに
仲良くしてほしいだけなのに…‼
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

放して！

ギュイイイイイ
うっ…!
ゴオオオオ
ギギィィッ
ガガ
…!
スズネちゃん!
…借りは…
返すわ…

…ふぅん

そうやって
ツバキだけじゃなく
マツリまで
取っちゃうんだね…

本当はさ
スズネちゃんを
魔女化させたら
マツリだけは
許してあげようと
思ってたんだけど…
やっぱり
やーめた

二人まとめて
壊してあげる

ふふ…
うっ…!
第15話 — 隔絶

!

スズネちゃん
後ろッ！

ええいッ！

…なっ…

あははははッ！
どうしたの？
ちゃんと狙ってよ
二人ともォ！

今…何を
したの？

消えた…？
いや…違う

…次は
外さない！

！

…また…！

ふふっ
これじゃあ勝負に
ならないねぇ？

くっ…！

やあぁぁぁぁぁあ!!
…マツリ…!?
!
スズネちゃん!?
今確かに
カガリが…!
おかしい…!
…何が起こってるの…!?

あれぇ？
あんなに仲良さそう
だったのに
もう仲間割れ
なんかしてるの？
ズッ
…！
だからぁ
そっちじゃ
ないってば
くそっ…！
ガッ

どうしよう…
このままじゃ…！

君達は肝心な事を忘れていないかい？

…あ…

やぁ マツリ
キュゥちゃん…
どういうこと…？

カガリの能力さ
彼女は相手の記憶や意識を操ることが出来る

この程度なら戦闘への 応用も難しくない

今の君達は

彼女(カガリ)の 操り人形だ

そんな…

じゃあどうすればいいの!?

…まぁ目で追っているだけでは

勝ち目はないね

…!

…そっか…

だったら…

気配を

追えば…!

このまま…
いつまでもつかなぁ？
…また来た…！
スズネちゃん！
右！
！

ピッ
！
後ろ！
左！
前！
…くっ！

左！

後ろ！

右！

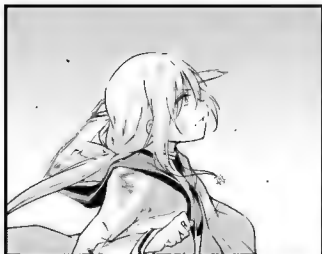
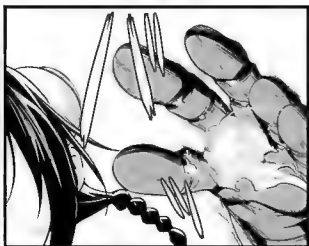
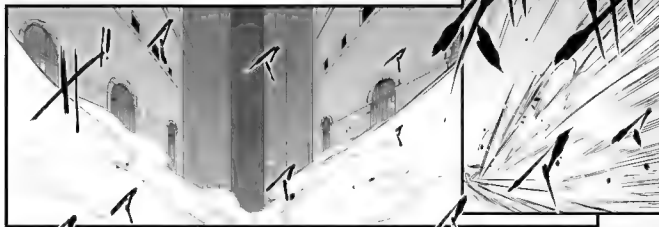
見える…

二人の動きが…！

ザ
…このッ…!
ザ
邪魔しないでよッ!!
ザ
マツリイイィィイイイイ!!
もっと…集中して…!!

これで…ッ！
が…あッ!?

やっぱり
もうやめよう…
こんなの…
何の意味があるの？

…まだ
そんなこと
言ってるの？

昔からそう…
思ってもないこと
言ってごまかそうとする

ホントは私なんか
いなくなっちゃえばいい
って思ってるクセに

そんなこと…

あるわけ
ないでしょ!?

マツリは…!

もういいよ
聞きたくない

…あーあ

マツリのおかげで
全部台無しに
なっちゃったじゃない

…でも
まだ終わり
じゃないよ?

え…?

私の魔法…
スズネちゃんにやったみたいに
自分の記憶もイジれるの

だから…

自分にとってサイアクな
お話を作って流し込めば…

今すぐにでも
魔女に
なれちゃうんだよ
こうやって…ね
…！
待って！
カガリ！
ダメッ!!
うっ…！
ふふ…
また嘘ついた
やっぱり…
マツリなんて
大っ嫌い…

…バイバイ

どうして…

どうして…
お姉ちゃん…っ

…マツリ…

どうすれば…っ
よかったの…

まるで
あの時の自分を
見てるよう…

…言えない
今の私には
貴方に…
この魔女と
戦えなんて…
グッ

…来る!

ギン
ザッ
ぐっ…！
ザン
数が多すぎる…！
ギン
…しまった…!!
グワ
オオオ
マツリッ!!
！

…ひっ…!

やめ…っ

スズネちゃ…

マツリッ!!

ばっ
!!
くん
やめ…
てっ…!

貴方が私の…最後の仕事よ

お願い…
ツバキ…
最終話 収斂

ゴゴゴゴゴゴ
アアアアアアア
オオオオオ
桜火ッ!!

行けっ！
今だ！

はあぁぁぁぁ
あああ

トッ

…効いてない
!

やっぱり

あれは〝影〟でしかない

本体は…
そっちね

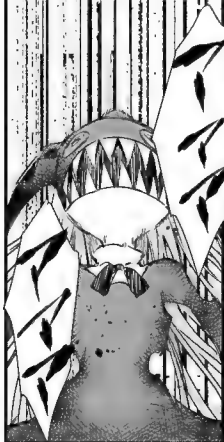
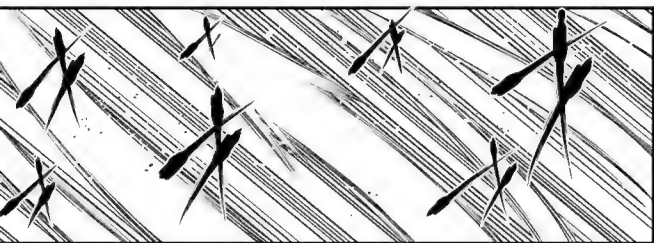
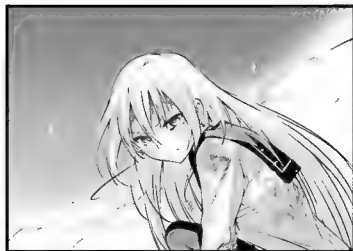
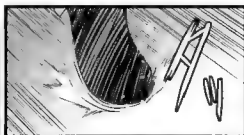
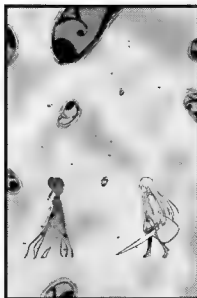
それなら…
懐に
飛び込むまでよ
…来た!

ぱりーん

ズ
くっ…
ズ
ズ
何とか…
ズ
ズ
ズ
ズ

入り込めたようね…

…日向
カガリ…
ズ
ズ
ズ
ズ
!
ズ
…何…!?
うっ…

体の中に…流れ込んでくる…!?
ぐぅ…ッ!!
これが…
本当の…貴方なの…!?
なんて…暗くて…
悲しい…!

貴方が
言ったように…
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
確かに私が
いなければ…
こんな結末には
ならなかったかも
しれない
…私には
魔法少女の仕組みを
止めることは出来ない
もう
けど
こんな悲しい
連鎖は…
終わりに
しましょう

ツバキ…
最後にもう一度
だけ…
ギュッ
ギリ
ギッ
私に
力を貸して!!
ザッ

ゴッ
オオ
オ
オ
オ
オ
オ

…う……
私…

…！

マツリ！
目を…目を覚まして！
…また…
救えないの…⁉
グッ

あれは…
グリーフシード…!?
カガリが落としたんだ…
…それを
どうするつもりだい？

君も
マツリも
ソウルジェムの
穢れはもう限界
近くまできている
仮に彼女を
助けても
カガリや君が死んだと
なれば…その反動で
いつ魔女になっても
おかしくはない

それは…君の
本意なのかい？
…私は…

…ん…
…う…
！
ガバ
…ここ…
マツリの部屋…？
…そうだ
スズネちゃんは…!?

…月が
はぁ
綺麗ね…
はぁ
はぁ
スズネちゃん!

どうして…
はっ
はっ
はっ
だって…!
来てしまったの?
私のことなんて忘れて…生きていけばいい
それが貴方のためよ
そんなこと出来ないよ!!
だってスズネちゃんはマツリの…
大事な友達だもんっ!!

忘れられないのなら…

私が
忘れさせてあげる…

!
それ…カガリの…!?

…私だって
出来れば使いたくは…
はぁ
はぁ

あぐっ…!

ガ
スズネちゃん!

…全部忘れろだなんて…
そんなこと言わないでよ…
マツリは…
アリサ達のことも
カガリのことも
ツバキのことも…
スズネちゃんのことも…
もう忘れたくないよッ!!

…だったら…
はぁ
はぁ
約束して…
何があっても…
最後まで…
生きるって…
…うん…！
うん…!!
…私…
今まで…
取り返しの
つかないこと…
してきた…
…当たり
前だよ…っ!!
それでも
友達で…
いて…くれる…？

ずっと…
ずっと…
…あり…が…
と…
友達だよ

大したものだね
あれほどの絶望に耐えられるとは
正直に言って驚いたよ
…平気なわけないよ
でも…約束したから

マツリは
どんなことが
あっても…
最後まで
あきらめない
それは
残念だな
君からは良い
エネルギーが
回収出来そうなのに
…おっと
マツリ
魔女の気配だ
…うん
行こう
Fin.

最後まで
お読みいただき
ありがとう
ございました！

＜初出一覧＞
まんがタイムきららフォワード
Ｈ２６／８月号〜Ｈ２７／１月号
描き下ろし
本書は以上の内容を収録しました。

魔法少女すずね☆マギカ　第３巻

原案：Magica Quartet　漫画：ＧＡＮ

電子版発行日：2015 年 10 月 15 日
発行人：東　敬彰
発行所：株式会社芳文社
東京都文京区後楽 1-2-12